

さくら貝

逗子市桜山5-32-1 電話 046-873-8011 FAX 046-872-2519 info@zushi-shakyo.com

社協HP
はこちら
→



社協Instagramはこちら→

FOLLOW US !!

ユーザーネーム: zushi.shakyo
ハッシュタグ: #逗子市社会福祉協議会



逗子の福祉を一步一步「福祉教育」わたしたちの実践

★ みんなで考える～心と環境のバリアフリー～★

逗子市社会福祉協議会では、地域に暮らす様々な人たちとの関わりや触れ合いを通じた学び、多様性への理解を目的とし、子どもから大人まですべての人を対象に福祉教育を行っています。

小学校や中学校での福祉教育は、各学校と連携して実施しています。例えば小学校では、街中での車椅子体験の授業を実施しました。市内の歩道や駅、施設、商店など日常生活の中での体験を行うことにより、車椅子ユーザーの生活の様子を想像し、生活の工夫や周囲の配慮について考えました。

一緒にまわってくださった
車椅子ユーザーの 皇中一郎さん

皇中さんには、子ども達の『楽しかった』気持ちを受け止めていただいた後、お話を伺いました。子ども達の真剣な表情へと変わる瞬間が印象的でした。

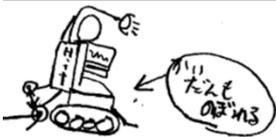


「車椅子の人は楽しい気持ちだけで乗っている訳ではありません。みんなと同じように歩きたいし、走りたいけれど色々な病気や怪我の関係でできません。だから今日、面白いこともあったと思うけれど、大変なこともあったと思います。ちょっとした出っ張りとか、普段歩いている時には気づけなかったことに気づけたと思います。まわりに車椅子を使っている人がいたらぜひ、『自分も乗ったな、大変なこともあったな』ということ思い出して欲しいです。車椅子に乗っている人に出会ったら、『私たちも体験したから大変なことがあることわかっていますよ、何かあったらお手伝いしますよ』という気持ちを持ってもらいたいです。



車椅子で移動する時に「もっと、こうなったら良いな！」というアイデアもいっぱい届きました♪

道路状況に合わせてタイヤを変える。



飛ぶ



担当職員 平山

「楽しかったが大変なことも分かったので助け合いたい」等の感想が多く、『心と環境のバリアフリー』や『自分たちができること』について考える機会となりました。私が生まれ育った逗子のまちが、もっともっと素敵になるように、これからも尽力していきます！

あなたの社協会費が、逗子の福祉を支えます！



社協会費は地域福祉を推進する貴重な財源となります。逗子の地域福祉増進のため、引き続きご協力賜りたく、何卒よろしくお願いいたします。

個人会員：年間 1口 500円 団体・団体賛助会員：年間 1口 5,000円

会費の
納入方法

振込や福祉会館などで受け付けています。郵便局からの振込の場合、手数料当方負担の払込取扱票をお渡しできます。

郵便局から
の振込先

【加入者名】社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会
【口座記号番号】00280-7-60555

銀行からの
振込先

【金融機関名】ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900)
【店名】〇二九店(店番 029) 【口座番号】0060555
【預金種目】当座【口座名義】社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会

★社協クイズ★

日本では車椅子がいつ頃から使われていたでしょうか？

- ① 600年頃(飛鳥時代)
- ② 1200年頃(鎌倉時代)
- ③ 1870年頃(明治時代)

答えは裏面をチェック！



イベント・講座・催し

問合せ ☎873-8011

認知症カフェ（おれんじカフェずし） 〈予約制☎872-2480〉

日時：毎週金曜日 14時～16時
※祝日は休み
場所：逗子4丁目個人宅 / 100円
対象：認知症の人とご家族、
認知症予防に関心のある方
*他地域で開催している認知症カフェに
ついてはお問い合わせください。

逗子家族会

〈予約制☎872-2480〉

日時：第2金曜日 14時～16時
※祝日は休み、8月は夏休み
場所：逗子4丁目個人宅 / 100円
対象：認知症の人を介護している、
していた家族

弁護士相談 〈予約制〉

日時：8月23日(金)・9月27日(金)
14時～16時
場所：福祉会館 / 無料
対象：日常生活に不安を持つ、
障がいのある方やご高齢の方

成年後見相談 〈予約制〉

日時：8月28日(水)・9月25日(水)
14時～16時
場所：福祉会館 / 無料
対象：成年後見制度について知りたい方

「禅とマインドフルネスの体験～ストレス を軽くするセルフケアを知る～」

〈予約制〉

日時：10月2日(水) 13時半～16時
場所：佛乗院（小坪4-26-3）
講師：川野泰周さん（精神科医ほか）
内容：①講義・体験 ②語らいカフェ
対象：関心のある方どなたでも
参加費：500円（カフェ代）
共催：佛乗院
*「語らいカフェ」は、主にひきこもり
状態にある方や障がいのある方、またそ
のご家族の居場所として、佛乗院で開催
しています。

ちびっこママのためのリフレッシュ講座 「陽だまりサークル」〈予約制〉

●クリニカルアート(立体力ポチャ作り)
日時：9月26日(木) 10～12時
場所：逗子市体験学習施設スマイル
アトリエ
講師：井上みどりさん（臨床美術士）
対象：逗子市在住、未就園児の母親
/ 10名
参加費：500円
持ち物：持ち帰り用の袋
申込：9月2日から先着順

逗子市内サロン一覧冊子(2024年4月版) 更新しました！

市内で開催されている集いの場（サロ
ン）情報を46団体、掲載しています。
ご希望の方はお問い合わせください。

令和6年度ボランティア入門講座

全体講座：オンデマンド方式
10月25日(金)～10月31日(木)
選択講座：福祉会館
11月4日(月祝日)
参加費：無料
対象：逗子市内在住・在勤者・在学者
で全体講座と選択講座を受講できる方
*詳細は10月号に記載します。

第47回神奈川県福祉作文コンクール

〈対象：小学生・中学生〉

夏休みに、「福祉」についてふだん
の生活で感じたこと、考えているこ
と、体験したことなどについて、作文
を書いてみませんか？詳しくは、学校
で配布される案内をご確認ください。

お知らせ

●社協の団体会員・団体賛助会員に
ご加入いただいた団体等の情報は
社協HPに記載しています。

●逗子社協ご寄付の窓口「あゆむ銀行」
ご寄託誠にありがとうございます
受領期間 5月・6月（順不同・敬称略）
○寄託金 8件 145,800円
国際ソロプチミスト逗子・葉山、
仲町橋食堂実行委員会、麻生康輔、
匿名6件



～ピックアップニュース～ 「地域支え合い学習会」

みんなが暮らしやすい地域へ

子どもたちが、障がいのある人が、高齢の人が「暮らしやすい地域」ってどういう地域だろう？

「みんなが暮らしやすい地域づくり」は一人ですることではありませんが、一人ひとりの意識や行動（取組み）がないと進みません。

『地域支え合い学習会』は、「みんなが暮らしやすい地域」について、逗子に暮らすみなさんと一緒に様々なテーマから考えていく時間です。同じ地域に住んでいるいろいろな人の話や、自分とは異なる人の意見を聞いて、改めて、みんなの暮らしや、住民同士のつながり・支え合いについて考えてみませんか？そして、一人ひとりの意識と行動につなげていきましょう。

昨年度は5回開催しました。テーマは、「ひきこもり」「8050問題」「障がい」「親なきあと」など様々取り上げました。今年度の詳細は決まり次第、お知らせします！

◆参加者感想（一部抜粋）◆



・お互いに助け合
いができる関係が
大切。知らない人
には助けを求めづ
らいので、地域で
顔見知りの関係づ
くりをしたい。



・大事な社会的
問題として今後
も自分のできる
ことから取り組
んでいきたい。



・笑顔をデフォルト
にすること。みんな
が今日から取り組
める行動ですね。
・「どうせ」から「ど
うせなら」への変
換を実践します。

★社協クイズの答え★

正解は、②1200年頃（鎌倉時代）です。

傷病者のために作られたという「土車（つちぐるま）」が様々な絵巻などに描かれています。*諸説あり



次回さくら貝（217号）は令和6年10月1日発行です（隔月発行）

広報誌さくら貝は、「逗子市役所高齢介護課前社協掲示板」「福祉会館」

その他市内公共施設でも入手できます♪

「さくら貝」〈音声版〉は逗子市社会福祉協議会ホームページにも掲載しています。



さくら貝音声版
QRコード